



給食だより9月



朝夕の風にほんのり秋を感じますが、日差しにはまだ夏の名残が感じられます。夏の疲れに気をつけながら、今月もお月見や絵本の世界を通して「食」を楽しんでいきましょう♪



お月見の
ひみつ



お月見とは月を見ながら食べ物の恵みに感謝する行事です。昔は子どもたちがお供えのお団子をこっそり盗む「お月見泥棒」という、まるで「日本のハロウィン」のような楽しい行事がありました。子どもは「お月様の使者」とされ、盗まれるほど縁起が良いと喜ばれたそうです。

今年の十五夜は ○ 9月25日(金)。

お団子を食べながら、ご家族で賑やかなお月見を楽しんでみてください！



絵本から広がる 食のわくわく体験



読書の秋は、絵本と食べ物の出会いの絶好の機会です。絵本に登場する料理は食への好奇心をぐっと高めてくれます。物語の世界を味わう体験は心に残り、好き嫌い克服やマナー習得のきっかけにも。絵本を通じて豊かな「食の世界」を広げていきましょう！



「ぼたもち」と「おはぎ」 は兄弟？



お彼岸は、昼と夜の長さがほぼ同じになり、ご先祖様を身近に感じる時期です。供える「おはぎ」は、赤色で魔を払い健康を願う行事食。実は春は「ぼたもち(牡丹)」、秋は「おはぎ(萩)」と名前が変わります！ご先祖様に感謝して、季節の味を楽しみましょう。